



平成25年11月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

業績予想と実績値との差異、及び  
平成26年3月期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ

当社が、平成25年8月14日に公表いたしました平成26年3月期中間期業績予想につきまして、以下の通り実績値との差異をご報告いたします。また、当該実績を勘案し、連結業績予想につきまして下記のとおり修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異日（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,350百万円	420百万円	500百万円	190百万円	4.08円
今回発表(B)	4,313百万円	210百万円	255百万円	62百万円	1.34円
増減額(B-A)	▲37百万円	▲210百万円	▲245百万円	▲128百万円	—
増減率(%)	▲0.85%	▲50.00%	▲49.00%	▲67.37%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,546百万円	350百万円	373百万円	▲18百万円	▲0.39円

2. 連結業績予想との差異理由

平成26年3月期第2四半期累計期間の実績につきましては、売上高はほぼ業績予想通りの4,313百万円となりました。売上高につきましては前年比約21.6%と大きな伸びとなっておりますが、これは主に業績の伸張が著しいタイのファイナンス事業の伸びによるものであります。一方、営業利益は、前回予想を2億10百万円下回る2億10百万円（前回予想比▲50.00%）、経常利益は2億45百万円下回る2億55百万円（同▲49.00%）、当期純利益は1億28百万円下回る62百万円（同▲67.37%）にそれぞれ修正いたします。

これらの修正の主な理由といたしましては、日本国内においてスポーツ事業が好調に推移したものの、ゴム事業並びにコンテンツ事業の不振が続く中、海外ファイナンス事業において、タイ国内における事業拡大やカ

ンボジア王国での営業拠点の全国展開を本格化しており、今後のASEAN全域での事業展開に向けた先行投資的な費用が発生したことをはじめとする投資的費用が発生し、またリスクマネジメント費用が増加したことによるものです。

3. 平成26年3月期通期連結業績予想の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,850百万円	920百万円	1,050百万円	230百万円	4.94円
今回修正予想(B)	8,700百万円	700百万円	750百万円	70百万円	1.50円
増減額(B-A)	▲150百万円	▲220百万円	▲300百万円	▲160百万円	—
増減率(%)	▲1.69%	▲23.91%	▲28.57%	▲69.57%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	7,405百万円	758百万円	928百万円	101百万円	2.18円

4. 修正の理由

平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、下期もファイナンス事業において事業展開に伴う先行投資的な費用や、与信管理面の費用がかかる見込みが引きつづき想定されますので、上記に記載させていただきました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異理由を勘案し、売上高8,700百万円（当初予想比▲1.69%）、営業利益700百万円（当初予想比▲23.91%）、経常利益750百万円（当初予想比▲28.57%）、当期純利益70百万円（当初予想比▲69.57百万円）に修正させていただきます。

以上